

水田でヒエの無化学肥料栽培ができます

【1 成果概要】

県が選定した優良ヒエ系統「達磨」は水田で無化学肥料栽培ができます。化学肥料と比較して、窒素成分で発酵鶏ふんでは2倍、有機質肥料では同量の施用が目安です。無化学肥料栽培をしても、出穂期などの生育ステージに大きな影響はありません。無化学肥料栽培をしても、収量は化学肥料栽培と同程度です。

【2 効果】

1. 無農薬栽培しているヒエに、無化学肥料栽培という付加価値を加えることが可能です。
2. こだわりの食材として消費者にアピールすることができます。
3. 畜産廃棄物を資源として地域内循環するための一助になります。

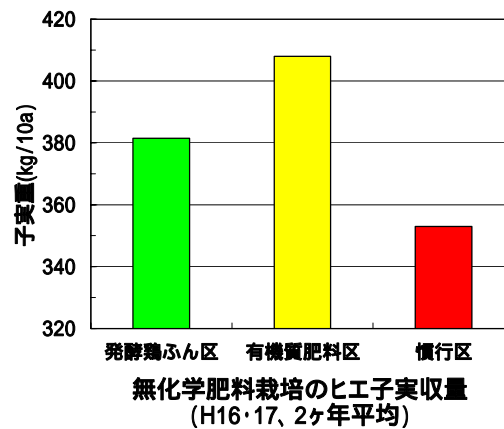
表1 施肥量 (平成16、17年度)

	施肥窒素分量 (kg/10a)			有機物 現物量 (kg/10a)	備 考
	化学肥料由来	有機物由来	合 計		
発酵鶏ふん区	0	7.2	7.2	195	窒素利用率50%として算出 有機態窒素100%配合
有機質肥料区	0	3.6	3.6	72	
無施肥区	0	0	0	-	
慣行区	3.6	0	0	-	

1. 供試資材成 発酵鶏ふん : N-P₂O₅-K₂O = 3.68-2.58-3.85, 有機質肥料 : N-P205 - K20 = 5-2-2,
化学肥料 : N-P205 - K20 = 3.6-4.5-4.5

【3 留意事項】

1. 使用する資材の内容成分を把握して下さい。
2. 連作にあたっては施肥管理に注意して下さい。



【4 適応対象】

- 1 地帯
 - (1) 岩手県下で「達磨」の水田栽培を行っている地域
 - (2) 有機質資材の入手が容易な地帯
- 2 対象者
 - (1) ヒエに新たな魅力を付け加えたいあなたへ

【5 導入コスト】

- 1 資材費 (10a 当たりの見込み)
 - (1) 発酵鶏ふん 4,511 円 (15kg/袋・13 袋)
 - (2) 有機質肥料 9,125 円 (15kg/袋・4.8 袋)
 - (3) 化学肥料 2,520 円 (20kg/袋・1.5 袋)
 資材を直接工場から買い付ける形をとればさらに費用を低く抑えることもできます。